



日々成長 Part2 教頭 三原聖子

今年、2年ぶりに本校に戻ってまいりました。また、とうせんの児童生徒たちの笑顔を見ることができてとても充実しています。そして日々、児童生徒たちの成長や変化に驚かされています。

一人一人の特性や個性、年齢の差はあっても、それぞれに「できない」が「できる」に変わり、新たな課題に挑戦している姿を見かけたとき、感動するとともにこれが特別支援教育の魅力なんだと実感しています。1日1日はスモールステップであっても、時には後退しているように見られても、長い目で見ると、このように確実に成長（変化）していることがわかります。そして、それが児童生徒たちの自信につながり、新たな課題への挑戦につながっていると確信します。うれしのスタンダードに則って校長先生をはじめ、全職員で取り組んでいきたいと思ひます。

7月の大雨による緊急引き渡しや臨時休校では、保護者の皆様にご迷惑をおかけいたしました。今後も、自然災害や新型コロナウイルスによる影響も懸念されますが、引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



【寄宿舍】「令和2年度 寄宿舍夏のビンゴ大会」をしました！！

今年は、コロナウイルスの影響で夏まつりができなかったため、かわりに「寄宿舍夏のビンゴ大会」をしました。自分で決めた1～20の数字を書いたビンゴカードを片手に、何の数字が出るかドキドキしながら待つ子ども達。カードの中の数字が出ると「やったー！」「あった！」と大きな声で喜んでいる姿が微笑ましかったです。「ビンゴー！！」と数字が揃った時の誇らしい顔、また景品を手にした時の笑顔は本当にキラキラ輝いていました*^o^*

今年はこのような形での会となりましたが、みんなで盛り上がり、子ども達が楽しんでくれる姿を見ることができてよかったです。



【中学部】地域ボランティア活動

中学部1年生は総合的な学習の時間に、地域ボランティア活動の学習をしています。火の口にあるお地蔵さん周辺の清掃、和泉式部公園の清掃が主な活動内容です。

7月の学習では、「自分たちにできることを考え活動する」ことを目標に、お地蔵さんの前掛けや帽子を作りました。アイロンやミシン掛け、ゴム通し、飾りつけなどの中から自分ができること、自分がしたいことを選んで活動しました。それぞれの生徒達の思いがこもったステキな前掛けができました。9月の活動時にお地蔵さんにプレゼントします。



進路指導部より

【高等部】前期就業施設体験実施されました（^o^）！

新型コロナウイルスの影響で期間を延期と短縮して、2、3年生の希望者で前期就業施設体験を実施しました。外部での就業体験と各作業班での校内実習に分かれて「働く生活」を体験しました。2年生・3年生においては、これまでの就業施設体験の経験や反省の振り返りをもとに、1年生においては、初めての就業施設体験で、自分が働くことのイメージをした目標設定をおこない、43事業所、54名の生徒が体験に臨みました。3年生にとっては卒業後の進路にかかわる大事な体験であり、1年生・2年生においても就労への見通しをもって取り組むことのできた大切な体験でした。体験期間の最終日には、事業所や担当の方から評価をいただき、反省会では良かったところや今後の課題を知ることができました。7月20日（月）には、就業施設体験を通して学んだことや課題などを振り返り報告会を行いました。これからの学校生活や進路決定に向けて、気持ちを込めた発表になりました。



体験期間中は、保護者の方にもご協力をいただきありがとうございました。

就労アセスメントについて

学校卒業後（中途退学を含む）に就労継続支援B型のサービスを利用するためには、「就労アセスメント」を行う必要があります。「就労アセスメント」は、市町の障害福祉課からの支給決定を受け、就労移行支援事業所で行うものですので、学校で行う就業体験とは性質が全く異なります。卒業後の進路先として就労継続支援B型での利用が確実になった時点で市町の障害福祉課に相談、手続きに行ってくださいが必要です。

チェック！

- ① 就労アセスメントの実施は「就労継続支援B型」の利用が確実になったときでOK！
＜前期就業体験後が妥当＞（「生活介護」や「就労継続支援A型」利用の場合は必要ないです。）
- ② 夏季休業中に必ずしも行う必要はなし！＜学校授業中でもOK＞
- ③ サービスの利用となるので市町の福祉課への相談は必須！

